

第7回
消費者保護のための啓発用デジタル教材
開発に向けた有識者会議
議事録

消費者庁新未来創造戦略本部

第7回 消費者保護のための啓発用デジタル教材開発に向けた有識者会議

1. 日 時：令和4年2月7日（月） 10:00～12:00
2. 場 所：消費者庁新未来創造戦略本部 会議室 （ウェブ会議：オンライン参加可）
3. 議 題
 - ・ 高校生向け実証について
 - ・ 実証検証報告
 - ・ コンテンツ制作状況
 - ・ 報告書素案について
 - ・ 令和3年度有識者会議スケジュールについて
4. 資 料
 - ・ 資料1 消費者保護のための啓発用デジタル教材を活用した調査実証事業
実証中間報告書
 - ・ 資料2 調査報告書 目次素案
 - ・ 資料3 令和3年度有識者会議スケジュール(案)

5. 出席者

(委員)

坂本委員（座長）、阿部委員、稲倉委員、齋藤委員、坂倉委員、
坪田委員、西尾委員、西村委員、阪東委員、山本委員

(オブザーバー)

徳島県 消費者政策課

徳島県 教育委員会 学校教育課

徳島県立総合教育センター GIGA スクール推進課

消費者庁 消費者教育推進課

(事務局)

消費者庁新未来創造戦略本部（消費者政策課）

NTT ラーニングシステムズ

発言者	内容
1. 開会	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 事務局より開会 配布資料確認
坂本座長	<ul style="list-style-type: none"> 議題説明
2. 高校生向け実証について	
坂本座長	それぞれの資料説明を行った後、意見交換等の時間を設ける。 最初に、「デジタル教材の実証」について事務局より説明をお願いする。
事務局	<p>■資料1「消費者保護のための啓発用デジタル教材を活用した調査実証事業」（高校生向け実証）について事務局から説明。</p>
坂本座長	<ul style="list-style-type: none"> 実証授業をしていただいた西村委員、山本委員に当日の感想などをお話いただければと思う。西村委員、いかがか。
西村委員	<ul style="list-style-type: none"> 「指導手引書」どおりにやってみようと心掛けた。実際に授業を行う中で、教材内容が充実していたため、それをこなしていくというのが第一印象だった。もう少し要点を押さえ、アプリやパワーポイントのスライドをゆっくり見せたり、時間に合わせて、アニメーションなどを飛ばしながら行ったら、余裕のある授業ができたのではないかと思う。
坂本座長	<ul style="list-style-type: none"> 西村委員には、全ての教材を使っていただき課題を洗い出すような形で授業をしていただいた。現場で授業を拝見したが、生徒は一生懸命授業内容を聞いているようにも感じたが、初めてのテーマで一度にたくさんのことを言われて戸惑っているという印象も受けた。 オンライン授業を担当した感想をお伝えする。私が居た研究室からでは生徒の様子がよくはわからない状態だったため、こちらのペースの授業になってしまうことを改めて感じた。阿南光高校ではMetaMoJiで生徒の画面を確認したためワークシートへの記入状況を理解できたが、城東高校ではExcelに記入してもらったため進捗状況を確認しにくかった。リアルタイムでやり取りできるような補助的なものがあると、もっとスムーズに進めることができると感じた。また、デジタル教材があるとすぐにオンライン授業を行うことができる、ということも実感した。 実証について阪東委員、いかがか。
阪東委員	<ul style="list-style-type: none"> デジタル化されていることで標準化され、いつでも誰でも利用できる点については十分に担保されたと感じた。一方で教たい内容や扱う内容が広範囲のため、開発された時点ではどの内容を授業で扱い、どこからは自習に充ててほしいポイントなのかということをつ

発言者	内容
	けられていなかったことが分かった。基礎と発展という内容で分けるのであれば、学校に来られない期間にでも生徒へ提案でき、今回作成したデジタル教材の強みになる。引き続き課題があれば検証し、より良いものができればと思う。
坂本座長	・ 実証授業を担当された山本委員、いかがか。
山本委員	・ 分散登校などが始まっているような状況ではデジタル教材は使いやすく、自宅学習の場合は授業に参加しやすいのではないと思う。5時間分の教材を全部使うのは難しいかも知れないが、内容的に工夫された良い教材が準備されているので、自由に選べるのであれば大変使いやすい。
坂本座長	・ 実証授業の準備など、いかがだったか。
山本委員	・ 前日に MetaMoJi を利用すると聞いた際にはあまり慣れていなかったのが困惑したが、これを機会に覚えて、今後はしっかり準備を進めたい。しかし一方で、MetaMoJi を使用し情報を共有するとなると、準備に時間が必要だと感じた。
坂本座長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特に初回は要領もつかめないで、時間が必要かと思うが、2回目、3回目となれば問題なく準備できるのではないか。 ・ オンラインの実証授業で実施した Excel を使い予算を作ってもらった活動については、生徒は十分に組み合わせていたか。
山本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作成し保存したシートの確認はできていないが、授業の間は前向きに取り組もうとする姿勢が見られた。 ・ 生徒は金銭感覚が十分でないため、理解するためには時間が少し足りないという印象だった。
坂本座長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先生方に上手に教材を使っていただき、自由に組立てていただければ良いが、ボリュームが多く主体的な活動も入れるということで、時間不足について指摘されている。改めて指導手引書に記載しておくことが必要だと感じた。 ・ 接続不具合のトラブルもあったが、オンライン授業の生徒の様子や反応について西村委員、いかがか。
西村委員	・ 聞こえづらい部分もあったが、ソファの購入を検討する活動では、生徒は自分が書いたワークシートも紹介してもらえるのだろうか、と楽しみにしているような反応があった。最初は、自分のシートがみんなの前で発表されることはストレスになるのではと思ったが、自分が考えたものをみんなに見てもらえることを楽しみにしているように感じた。
坂本座長	・ 教員は MetaMoJi を使って、それぞれの生徒が書いたものを全て確認し、必要に応じて共有することができるため、学習効果をあげら

発言者	内容
	<p>れることができたと思う。パワーポイント単独ではなく他のツールを使用することで、オンライン授業など効果的にできることを指導手引書に記載することが課題になると思う。</p>
阿部委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 阿部委員、いかがか。 ・ 最初は不安があったが、生徒が教材やタブレットを上手く使えていたので良かったと感じた。動画やアプリなど教材のボリュームが多く、先生方で工夫するのは大変だと思うが、材料がたくさんあるということは、それだけ工夫もできることだと思う。またオンライン授業やデジタル教材だと生徒の声を聞きとりにくいこともあるので、何かしらの工夫が必要だ。
坂本座長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 齋藤委員、いかがか。
齋藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体として、タブレットの利用に関しては、問題なくスムーズに行えていたと思う。初回の授業のためでもあるが、授業中のスライドや動画の切り替え、教材の使用する順番などを含め、通常の教科書主体の授業よりも準備時間がかかってしまったのではないかな。 ・ 動画について、説明や解説内容も分かりやすく、生徒はかなり注目して見ていたと思う。一方で教材の情報量が少し多いと感じる。例えば授業中に気になった個所をメモで残せるなど、後で振り返られるように授業が終わった際に情報が溜っている形がいいのではないかなと思う。
坂本座長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 坪田委員、いかがか。
坪田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初回とは思えない形で授業がスムーズに進み、最後のところでは生徒が理解していると感じた。しかし部分的には、準備にかなりの時間をかけなくてはならないと痛感した。さまざまな動画やアプリ、ワークシートを、いかに組み合わせていくかというところでは、工夫の仕方次第でバリエーションが広がると思うが、忙しい先生方にとっては大変であると思う。様々な先生方が行ったパターンを事例として出していただき、それを参考として活用できるのではないかな。 ・ 動画については、よどみなく流れるため、授業時間内の学習が可能かと思われる。しかし、デジタル教材を使わない学習では、先生や生徒のやりとりにおいて、少しずつ間ができていて時間がかかっている。デジタル教材は、テーマごとにコンパクトにまとめているが、逆に、次々と操作をしながら学習を進めていくので、生徒がゆっくり考える時間が不足しがちである。今後の検討課題である。そのような意味も含めて、やはり実証は大変重要であると感じた。

発言者	内容
坂本座長	<ul style="list-style-type: none"> 動画で上手に説明してしまうため、「聞いてわかったような気にはなるが、実は残っていない」というようなことになりかねないと感じた。途中で止めて確認しながら使用することも必要だと思う。いろいろ使い方など指導手引書に記載できたら良い。 坂倉委員、いかがか。
坂倉委員	<ul style="list-style-type: none"> 視察には行けなかったが、委員の方々のお話を聞き、短期間で準備され良い授業ができたと感じた。当初から懸念されていたボリュームについて、意見の中で出ていたため領けるところがあると思う。 元々の指導計画では5時間授業で組んでいたと思うが、今回の実証のように順番に行わなくても問題はなかったのか。
坂本座長	<ul style="list-style-type: none"> 1時間目の教材から5時間目まで順番通りに授業をしなくても大丈夫だったかという点について。西村委員、いかがか。
西村委員	<ul style="list-style-type: none"> 最初のクラスでは2時間目の教材で実証を行った。中学生の時に一度学んでいることが前提で進めていくと問題はないが、例えば一度契約を結んだら一方的に辞めることはできない、という前提がないまま、買い物をするときに気をつけるという話をしても、返品したら良いのでは？という感じになったりする。そのため確認をしながら進めていかないと理解できない箇所が出てくるのではないかと感じた。
坂本座長	<ul style="list-style-type: none"> 教材としては、順番どおりでなくても、1回1回で完結しているため大丈夫かと思う。
坂倉委員	<ul style="list-style-type: none"> 例えば5時間分の授業を取ることができず2時間、3時間しか授業に割けなくても使用することができると解釈してよろしいか。
坂本座長	<ul style="list-style-type: none"> 中学校までに基礎を学んできていることが前提であり、高校の現代社会の授業で契約の話について確認をしているようである。なので、限られた家庭科の授業時間だけで完結しなければならないということではないと思う。 稲倉委員、いかがか。
稲倉委員	<ul style="list-style-type: none"> オンライン授業を行うにあたっては、教材の中味が重要である点はもちろん、授業を運用するための MetaMoJi などのツールの導入も必要不可欠だと感じる。授業をスムーズにすすめるためのツールについての情報提供も必要なのではないか。 実証授業をされた2つの学校で大きな違いはあったか。これから様々な学校で実証授業が広がると思うが、高校によって気をつけなければならない点など、感想があれば教えていただきたい。

発言者	内容
坂本座長	・ 阪東委員、いかがか。
阪東委員	・ 大きな違いについてはあまり感じなかった。
坂本座長	・ 私も大きな違いがあるようには感じなかった。
	・ 西尾委員、いかがか。
西尾委員	・ オンライン環境や MetaMoJi については、慣れてくれば解決できると思う。
	・ 教材については、学校によって異なるが、十分な教材が揃っているため、各学校の先生やレベルに合わせても活用できる素晴らしい教材だと思う。先生方に対しての実施前の研修や、例えば参考動画において、教材を活用するときのポイントやサポートのようなものを拡充できると、より多くの学校で活用してもらいやすいのでは。また教材内容のボリュームをシンプルにしようとする逆とすると逆に内容が薄くなってしまう。それよりも、先生方が活用したい内容部分があるかどうか重要だと感じた。
坂本座長	・ 今後、より多く使っていただくためのサポートを考えていかなければならない。
3. 実証検証報告	
坂本座長	次に、資料1の「デジタル教材の成年向け実証」について事務局より説明をお願いします。
事務局	■資料1「消費者保護のための啓発用デジタル教材を活用した調査実証事業」（分科会 成年向け実証）について事務局から説明。
坂本座長	続いて、実証の検証について事務局より説明をお願いします。
事務局	■資料1 実証検証報告について事務局から説明。
坂本座長	・ 「生徒にとって深い学びが得られているのではないか」や「紙での資料も理解のためには準備しておく必要があるのではないか」などご意見をあげられているが、山本委員、いかがか。
山本委員	・ わかったことについての情報を溜めて一枚にまとまっていると、授業が終わった際に、見返すことができ、分かりやすい。
坂本座長	・ これからは主体的、対話的な学びが中心となり、知識や覚えていることだけでなく、学びに向かう姿勢なども評価方法としていくわけだが、知識の定着が見える化されることへのニーズもあると思う。教材の改修課題としてまとめておきたい。
	・ 西村委員、いかがか。

発言者	内容
西村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業内容が画面で流れるように進むことで生徒にどのように残るのか心配があった。坂本座長がおっしゃったように評価の方法も変わろうとしている中で、これから何をみて、どう評価するのか自分なりに整理をしたいと思う。期末考査などの問題の出し方や学んだことを実生活に使おうとしている態度、筆記テストの仕様も変えていなくては授業の形態も変わらないと感じた。
坂本座長	<ul style="list-style-type: none"> ・ それに対応できるようになるべく指導手引書に記載するようにしたい。 ・ 事務局、いかがか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「時間が足りない」ことや「教材への不安感」など、どのような様子であったかなど、意見一覧の中で記載させていただいているが、山本委員、西村委員からご紹介いただきたい。
坂本座長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山本委員、いかがか。
山本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業時間が足りないという点について、授業経験を積み、補って行くしかないと感じた。 ・ 深い学びについて、この教材を使うことにより対話が生まれるような授業の組み立てを考えたいと思う。 ・ タブレットの不具合について、普段の授業ではしてもらえないくらいの協力をしていただき臨んだため、不具合等、少なかったと思うが、今後はタブレットなどの不具合に対応できる体制が必要かと思う。 ・ 紙媒体での資料について、先程のとおり評価の方法も含め、これから考えなければならないと感じた。
坂本座長	<ul style="list-style-type: none"> ・ タブレットなどの不具合については、使い慣れることで解消していく点もあると思うが、基本的に学校側で対応しなくてはならないので、今後授業をする際、大きな課題になる。 ・ 西村委員、いかがか。
西村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以前からスマートフォンやインターネットを利用したの買い物経験の有無を確認してきたが、一度も買ったことがないという生徒もいた。例えば授業で料理の勉強や掃除、防災の話もするが、実際に経験がないまま勉強をするため、実感はないが想像して学んでもらうことでしかこの課題の解決はないと感じた。 ・ 買い物の疑似体験ができるアプリでは、安心して買い物体験ができたのではないか。以前の座談会の時にも発言させていただいたが、本当に買い物をしていることと同じように、自分がどこを押して、

発言者	内容
坂本座長	<p>どこを見ないといけないのか、解説やアドバイスのないバージョンのアプリもあったら良いとお願いをした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通信障害について、何が原因なのかが分かったら対応もできると思うが、私たち、教員自身も場数や経験でしか成長できないと思った。 ・ トラブルがあった際、原因の切り分けについて、フローチャートのようなものがあつたら良い。この教材特有ではなく、オンライン教材やデジタル教材全般の課題だが報告書に記載して共有をしていただけたらと思う。 ・ 阪東委員、いかがか。
阪東委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回は MetaMoJi ClassRoom を利用しているが、全国的なシェアを考えた際、自治体によっていろいろな共有タイプのソフトウェアにいくつか有名なものがあるため、MetaMoJi 化ではなく PDF で出力さえされれば、どのようなタイプでも対応可能かと思う。そのため、どれを配布すれば良いか明確になるよう指導手引書に記載した場合は、MetaMoJi という名前でなくても十分他で利用していただけると感じた。 ・ 教材は web 掲載されているものを利用するイメージだと思うが、協働的な学びに変えるためには違うツールで何かを行ったり、タブレットを使ったりすることになると思うため、切り分けておく必要がある。協働的な学びを使用しないような環境であってもデジタル教材には有効性があり、使用方法について提案され、そのうえで協働型の学びの使用法について、深い学びに近づけることを提案されたほうが利用者として考えやすいかと思う。すでに自分の持っているソフトウェア以外で提案をされてしまうと、使えないと思われることは、もったいないと感じたため指導手引書への記載について検討いただきたい。 ・ 買い物体験アプリについて、授業内での選択や活用の部分についてあまり取り上げていなかったと思う。例えば、知識を入れる部分が焦点化されるような内容になっていたが、この知識があればこのように使えるという箇所に時間を割いたほうが良い。そうすることで、たくさんある画面の中から商品を選び、「買い物はできるが何も表示されない」などの工夫があると、かえって疑問が生じ対話が生まれると思う。 ・ この教材をより優れていく方向に進めるためには、先生方の技量も必要になってくると思った。学校現場の中でのフローや集約されたトラブル事例について、各高校間で共有することも考えていく必要がある。

発言者	内容
坂本座長	<ul style="list-style-type: none"> 知識を取り入れることを優先している教材であるが、内容に主体的な活動も取り入れているため、整理し自由に教材を選ぶことにより、自習だけでも使えるように示しておくことも大切だと思う。 この後の改修状況と合わせて何かあればご意見をいただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 事務局から、現地で授業を拝見した時の感想についてご報告をさせていただく。 最初の授業で「決算手段とは何か」と生徒に質問したところ、「キャッシュレス決済」と回答をいただいた。なぜなのか伺ったところ、徳島県の環境事情により、地元では電子マネーなどはほとんど扱ってなく、交通系マネーについては普段は切符を利用するため持っていないという生徒が多く、キャッシュレス決済自体、何かということがあまり浸透していないと感じた。 来年度以降、この教材をいち早くタブレットで使えるようにするという必要だが、整備が行き届かないところに対しても何かしらのフォローが必要かと感じた。
坂本座長	<ul style="list-style-type: none"> 学校や県、地域によって様々だが、タブレットを配布されてもあまり使用されていない状況もあるとのこと。そのような状況ではあるが、この教材は十分利用できる内容になっていると思う。そのあたりを意識し、報告書にまとめておく必要がある。
4. コンテンツ制作状況	
坂本座長	<p>続いて、デジタル教材の制作状況と改修予定について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>■資料1 「消費者保護のための啓発用デジタル教材を活用した調査実証事業」（コンテンツ制作状況）について事務局からご説明。</p>
坂本座長	<p>動画1、動画6-1について、新しい構成案を検討している。パワーポイントでは契約の基礎を確認する箇所について検討している。消費者庁が作成した「社会への扉」という教材をもとに契約の基礎知識を学んでいるはずだが、いくつかの高校で出前授業を行うと忘れている反応だったため、大きな課題だと感じた。それに対して補足のスライドを入れるなど、検討が必要だと思っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 齋藤委員からもコメントをいただいているクレジットカードの箇所について事務局、資料の共有をお願いします。
事務局 坂本座長	<ul style="list-style-type: none"> 承知した。坂本座長より説明をお願いします。 出来るだけ頂いた意見に対応する形で進めているが、対応しきれない箇所もある。 リボ払いなどの支払方法の違いについて動画の特徴を生かし詳しく説明していただけるようお願いしている。

発言者	内容
齋藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書に載っている三角形の図が基本であり、それと違う図は混乱を招くため、教科書と同じような図を入れていただくよう修正をお願いしている。 ・ 一括払い、分割払い、リボ払いの違いをイラストでビジュアルに示し説明していただくようお願いをしている。リボ払いの支払いについて勘違いをし、支払えなくなるようなトラブルもあると聞いているため、しっかりと知っておいてもらうことが大事かと思う。 ・ 後半のフィッシング詐欺やスキミングについてキャッシュレス決済が中心となる中、クレジットカードは今後も使うことになるため、高校生には言葉による説明だけでは足りないので、イメージが湧くようにイラスト追加をお願いしている。 ・ 26 ページ男子Aの発言について、何に対してかが分かりづらいので訂正依頼をさせていただいた。 ・ 27 ページアニメーションの表示順や説明文の出てくるタイミングについて、印象が変わると感じた。また表現的な箇所について、「一定額」や「ほぼ一定」など、厳密には違うという観点がいくつかあった。返済額の大きさの比率についても注意しておかないと、過剰に借金があるかのような誤認をさせてしまう恐れがあるため、動画においては十分配慮していただく必要がある。 ・ 支払い残高の見え方について、手数料がすべて入っていることに違和感があるため、一般的なクレジットやリボルビング払いのサービスをもとに出すことが良いのでは。 ・ 29 ページ右側の図の中の表現とナレーションに食い違いがあり、統一していただく必要がある。特に左側のナレーションであれば、限度額を超えても使えるという解釈にもとれるため、右側に揃えていただくのが良い。 ・ 36 ページナレーションの「身分」という表記について、違う要素もあるのかと誤解を与えてしまうのでは。 ・ 40 ページ、物理的なカードの被害や不正されるケースが主体となっている印象を受けたが、最近であればネットショッピングで自分の個人情報をフィッシングサイトに入力してしまうケースのほうが社会的問題となっているのではないか。例えば、フィッシング関係の要素を押さえていただいたほうが直面しやすいトラブル防止の観点としては望ましいと思う。

発言者	内容
坂本座長	<ul style="list-style-type: none"> ナレーションを再検討する必要性も生じると思うので齋藤委員、リボ払いの「一定額」という表記のご意見について改めて詳しく教えていただきたい。
齋藤委員	<ul style="list-style-type: none"> 厳密に言えば、「一定額」ではなく「ほぼ一定」であるので、表記としては、例えば「ほぼ一定額」としてはどうかと思った。「ほぼ」というニュアンスが伝われば良いと思う。
坂本座長	<ul style="list-style-type: none"> 支払いの箇所については、変更する。 契約の箇所については、画面を共有し、ご説明する。 契約の基礎を確認する箇所で、なかなか理解が定着しないという問題があると思う。 契約の自由の原則や契約の成立の話などを、社会人の基本というようなことも含め伝える必要がある。 「本人」の「承諾」で契約が成立するということに含まれる重要なポイントを、改めて強調し説明しなければならない。 4時限目では動画とパワーポイントの内容が同じであるため、どちらかだけを使うのであれば分量の余裕がある。契約の基礎について4時限目に入れたほうが良いのでは。 西村委員、いかがか。
西村委員	<ul style="list-style-type: none"> まだ4時限目の教材を使用していないため具体的には申し上げられないが、パワーポイントなど、教材が分かれているので使う側で取舍選択していただくことが伝われば問題ないと思う。
坂本座長	<ul style="list-style-type: none"> 阪東委員、いかがか。
阪東委員	<ul style="list-style-type: none"> 4時限目に入れることは問題ないかと思うが、西村委員のご意見のとおり、せっかく教材が分かれて入っているため、レディネスチェックのような形で単元の前に置いてあっても問題はないと思う。必ず授業中に行わなければならないわけではないし、一覧で教材内容を確認できる状態となっている。そのため例えば、「中学校までの知識を確認しましょう」のような項目があれば、先生は事前に生徒へ指示もでき、使い勝手が良い。
坂本座長	<ul style="list-style-type: none"> 委員の皆様、他に意見はないか。 <p>特に意見なし</p>
5. 報告書素案について	
坂本座長	では、資料2「調査報告書 目次素案」及び資料3「令和3年度有識者会議スケジュール（案）」について事務局より説明をお願いする。

発言者	内容
事務局	■資料2 「調査報告書_目次素案」について事務局から説明。
6. 令和3年度有識者会議スケジュールについて	
事務局	■資料3 「令和3年度有識者会議スケジュール（案）」について事務局から説明。
7. 閉会	
坂本座長	・ 本日の議題は以上となるが、議題全体を通しての感想や、今後のご要望等があればお願いします。
坂倉委員	・ ご紹介いただいた調査報告書について「教材を完成させる」までのことを述べるのか、または「出来上がった教材を今後広くどのように使っていただく」ことを提言するのか、お聞かせいただきたい。
坂本座長	・ 事務局、いかがか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実証事業であるため、計画から実証まで、良かった点や課題点をまとめる。 ・ 提言について、今回の会議の中でのご発言やご意見一覧表（委員のみに共有）をまとめていきたい。 ・ 「調査報告書 目次素案」の公表を踏まえたうえで、どのような内容をどこに掲載するか今後検討することになる。
坂本座長	<ul style="list-style-type: none"> ・ まずは、教材を開発した経緯や実証結果を忠実に記録する予定。 ・ ポータルサイトの修正について、事務局から説明をお願いします。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 坂倉委員からいただいたご意見（意見一覧 500 番）について、修正内容が文面だと分かりづらいため説明させていただく。 ・ ポータルサイト上で「学習動画」「デジタルコンテンツ」「教材」「テキストワークシート」と並んでいる箇所において、高校生向けと成年向けがわかりにくいとご指摘いただいた。「教材カテゴリー」というタイトルをつけ、その下に「高校生向け」「共通」「社会人向け」と表記をさせていただいた。例えば学習動画では、動画の一覧が並んでいるが、タイトルの適切な箇所に各動画に共通の動画や高校生向けに作成した動画など表記を設けている。どの世代向けの教材なのか、わかりやすく伝えられるようにしたいと思う。 ・ トップページの上、「高校生向け学習プラント」と「e ラーニング」について、区分けがないような状態だったが、少し間隔を空け、左側に「授業プラン」右側に「e ラーニング」というタイトルをつけている。

発言者	内容
坂本座長	<ul style="list-style-type: none"> 画面の下部、「オンライン教材のご利用」の箇所で、「受講者の方はこちら」「教員・企業担当者の方はこちら」とあるが、これを押すとルームに参加するポップアップや ID を発行する画面が唐突に出てくるためご指摘をいただいた。 まだサンプルの画面の用意が出来ていないが、資料の共有をさせていただく。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 動画は「高校生向け」、「成人向け」、どちらも使用できるのではないかと。 使用できるが、制作上、「成人向け」として作っているものがあるため分けさせていただいている。ポータルサイトの画面の下部について現在検討中だが、「受講の開始」「受講用 ID パスの発行」について、例えばメニューをまず一つ用意し「受講者の方はこちら」や「教員企業担当者」「ID パス発行」というものをまず設ける。 既存で出てくる画面の下に「操作説明書」「教員指導書について」と用意したいと思う。 操作説明書については、生徒の方もポータルサイトの使い方をご覧になるケースがあると思うため、「生徒の方」の説明書「企業受講者の方」の説明書「教員の方ならびに、企業の管理者の方はこちら」というような形で考えている。また「教員の方ならびに、企業の管理者の方はこちら」については操作説明書以外に教員指導書もダウンロードできるようにしたい。 坂倉委員、いかがか。
坂倉委員	<ul style="list-style-type: none"> 「高校生の指導者向け」、それから「企業の担当者向け」と分けていただくのはありがたい。もし可能であれば、入り口で「高校生の教員の方」「企業の担当者向け」として、まとめた方が良いと思う。しかしホームページの制約もあるため、うまく混同しないようにしていただければそれで良い。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 阪東委員より生徒が見るページで指導書がダウンロードできることについてご指摘いただいております。指導書は「教員の方はこちら」という中からダウンロードしていただくように一部画面の中で、削除した。操作説明書やマニュアルという文言があったため整理し合わせたい。
坂本座長	<ul style="list-style-type: none"> 事務局においては、本日委員の皆様から頂いたご意見を参考に、今年度のデジタル教材の開発に向けた準備を進めていただきたい。 本日は委員の皆様方から様々なご意見を頂き、充実した内容だったと思う。残りも僅かだが、良い教材を制作したいのでご協力をお願いします。

発言者	内容
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 委員の皆様、活発なご意見、コメント等、誠に感謝する。本日頂いた内容を基に、さらなる検討を進めて参りたいと思っている。 次回の有識者会議開催は、既にご案内のとおり 3 月 11 日（金）午前 10 時から予定している。詳細については改めてご連絡をさせていただく。 <p>以上で、「第 7 回 消費者保護のための啓発用デジタル教材開発に向けた有識者会議」を閉会する。 ありがとうございました。</p>

以上